

2019 春季生活闘争・参議院選挙勝利 福島県中央総決起集会(3/9)

春闘は「働く者の命と権利を守る」闘い、参議院選挙・統一地方選挙とともに勝利しよう



2019 春闘、参議院選挙勝利 福島県中央総決起集会

連合福島は、3月9日(土)10時から福島市曾根田の「マックスふくしま」北広場において「2019 春季生活闘争・参議院選挙勝利 福島県中央総決起集会」を開催し、県北地域を中心に55単組1,078名が結集し、今次闘争への士気を高め奮闘を誓い合った。

冒頭、今野 泰連合福島会長は主催者あいさつに立ち、『春闘は、いよいよ3月13日に大手が山場を迎える。経営側は、すでに企業経営の不透明や将来不安を理由に頑なな態度を見せる一方で、学生の新規採用に向けた条件提示では、自企業の将来性や安定性をアピールする矛盾が生じている。2019春闘は、一つにこの間の妥結経過を背景に、基本賃金が伸び悩む中で、2%のベースアップを勝ち取り、絶対額を重視した取り組みを進める。とりわけ人手不足・人材確保と定着は労使が共有する喫緊の課題であり、「魅力ある職場、意欲が持てる仕事」のために真摯な交渉を期待する。そして、労使が知恵を出して働き方改革を進めながら、改正労基法の施行を踏まえた残業の上限時間を労使で確認する36協定を徹底する。これは「働く者の命と権利を守る」闘いである。働く者、県民の期待に応え、交渉の論理性と労働組合としての使命感を持ち、労働条件の向上をはかりつつ、働く者すべての底上げ・底支えにつなげなければならない。さらに、春闘と相まって迎える政治闘争も、参議院議員選挙比例区の組織内全候補者9名と五者協で協議中の選挙区候補者の勝利、統一地方選挙における支援候補者の勝利に向け結集をお願いします』と挨拶した。



主催者挨拶をする
今野泰連合福島会長



市内を行進し、市民の皆さんに訴えました

尚、国民民主党県連・増子輝彦代表、立憲民主党・古市三久代表、社民党県連・紺野長人代表、さらには金子恵美衆議院議員から連帯激励のあいさつを受けた。

また、今次春闘における取り組み報告・決意表明では①自治労福島県本部の日野泰治中央執行委員、②JAM南東北福島県連絡協議会からは坂路芳知会長の2構成組織より提起された。そして、夏の第25回参議院選挙に向け、全国比例区に組織内候補を擁立する産別代表者9名から力強い決意の挨拶を受けた。さらに集会アピールを全体で確認し、最後に今野会長のガンバロー三唱で集会を締めくくった。

集会に引き続き、福島駅周辺を経路に、国道13号線沿いの「さんかく広場」までの街頭デモ行進を実施し、団結と市民へのアピールを行った。

さらには、JR福島駅東口と西口の2か所に分散し、クラシノソコアゲ応援団！街頭大行動第26弾の取り組みを展開しながら、2019年の最低賃金引き上げの街頭署名と3.8国際女性デーにちなんだ「バラ」の配布を行った。



55単組、1,078名の組合員が参加



クラシノソコアゲ応援団第26弾の様子